

令和4年度

事業報告書

公益財団法人
新潟県保健衛生センター

令和4年度 事業報告書

1 事業総括

(1) 概況

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症が依然として続くなかで、様々な感染予防対策を講じながら保健衛生事業を行った。地域保健においては、新型コロナウイルス感染症の影響で減少した受診者数の回復を目指した。特定健診は、前年度に比べ約1,000件増加したが、コロナ禍以前の受診者数には戻っていない。また、がん検診では、胸部検診及び胃がん検診は特定健診の受診者数増加と連動して実施率は上昇したが、乳がん、子宮がんの女性検診は前年度よりも低い結果であった。

新型コロナワクチン接種事業は、前年度に引き続き、市町村（新潟市、小千谷市、見附市）や職域（新潟日报社、新潟市役所）からの協力依頼を受けて、あわせて6,410件実施した。

ア 事業別にみると、当財団の主要な事業である地域保健は、前年度との比較では特定健康診査、胸部検診・胃がん検診は概ね100%を超える実施率であったが、大腸がん検診や乳がん、子宮がん検診は80～90%前後の実施率であった。大腸がんは、加茂市が委託先を変更したことや燕市が対象年齢を引き上げたことで受診者数が減少した。乳がん、子宮がん検診は、マンモ検診車の台数が減ったことに加え、コロナの感染拡大で受診控えがあった令和2年度に未受診だった人が令和3年度に受診し、前年度比で138%～176%であったので、令和4年度は2年ごとの「空白年」になったと推察する。

イ 一方、新潟県内の人口の動向に連動している母子保健の先天性代謝異常検査は、12,959件の実施で前年度比較92.7%であった。公費負担の対象外の「希少疾患に対する付加新生児スクリーニング」は取り扱う産科医院が増加し、新潟県内において定着しつつある。学校保健の尿検査は前年度比97.7%、心臓検診は前年度比較99.4%であった。受託している学校数に変更はないため、自然減によるものと考えられる。少子化の影響が大きく、毎年減少傾向にある。

ウ 職域健診においては、巡回健診の定期健康診断は 14,304 件で前年度比較で 90.0%の実施であった。健診機関どうしの受注競争のなかで、従来健診を受託していた事業所が他の健診機関に移ったこと、さらに、公務員関係の健診で入札の結果、受託できなかったことなどで、全体で 1,500 件ほど減少した。

人間ドック受診者は、新たに新潟市医師会会員対象のドック 128 件を受託したが、全体でみると 100 件ほど減少し、前年度比較で 96.8%の実施であった。

エ 健康支援事業では、住民対象の特定保健指導の実施数は前年度と比べ減少した。施設健診においてもメタボの該当が減る傾向にあり、特定保健指導は、全体としては前年度比較 80%ほどで、年々減少している。また、対面型の健康相談や多人数のセミナーの参加者は、コロナ禍以前の水準に回復していない。

当財団の経営においては、コロナ禍の影響で減少した受診者数はやや回復してきたものの、人口減少や少子化が続いており、検査・健診事業は全般的に減少している。経常収支は、約 6,400 万円の赤字決算であった。他方、経常外収支において、新型コロナワクチン接種に伴う負担金収入や助成金があり、収支全体の均衡を保つことができた。

(2) 公益目的事業の内容と成果

当法人は、定款において公益目的を達成するための事業として7つの公益目的事業を掲げている。令和4年度において、それぞれの事業の概況と成果は、次のとおりである。

ア 健康増進、生活習慣病予防及び早期発見のための（地域）健診事業

市町村の住民を対象に実施される、公費負担による対策型の「地域（住民）健診」は、県民の健康の保持増進を第一の目標に掲げる当財団の主要事業である。

長岡市、小千谷市、見附市、三条市など中越・県央地域を中心に、住民の特定健診を実施している。新型コロナウイルス感染症による影響はやや緩和され、前年度に比べ、特定健診の受診者数は増加したものの、コロナ禍以前の回復には至っていない。

住民の結核・各種がん検診については、結核・肺がんの胸部検診、胃がん検診は、前年度並みの受診率であったが、大腸がん、乳がん・子宮がん検診は、委託

先の変更や受診間隔（2年に1回）の関係で、前年度に比べて受診者数は減少し、80～90%程度の実施率であった。

イ 働く人の健康管理業務全般にわたる支援活動業務

この事業は、労働安全衛生法に基づき事業所等が従業員に対して実施する定期健康診断や特殊健診、これと同時に実施する職域の各種がん検診などである。

当財団の職域健診では、行政、教育職場の占める割合が大きく、毎年度実施される競争入札の結果に影響されるが、出張の定期健診は前年度比較 90.0%であった。

人間ドックの受診者は、当財団の医療設備が古くなってきたことや、新潟市内の他の健診施設との競合によりこの数年は減少傾向が続いているが、前年度比較で 96.8%の実施率であった。

ウ 母子保健、学校保健分野における検査事業

母子保健における新生児先天性代謝異常検査は、新潟県および新潟市から委託を受け県内で唯一、当財団のみが実施している事業である。年々、出生数が減少しており、今年度は、12,959 件の実施で、前年度比較で 92.7%であった。

令和2年12月から実施している「希少疾患に対する付加新生児スクリーニング」は、取り扱う産科医院が増え、県内において定着しつつあり、検査数は年々増加している。今年度は 6,965 件実施し、前年度比 108.6%であった。

学校保健のうち、児童・生徒の心臓検診は、市町村小・中学校及び高校生を対象に 35,305 件実施した。また、新潟市や長岡市の教育委員会及び医師会との連携のもとに、小児腎臓病や小児糖尿病の早期発見のための尿検査（148,656 件）を担っており、今後とも、この分野における指導的機関としての役割を果たしていく。

エ 検査・健診の結果データの分析評価を地域社会に還元する事業

当財団は、県内唯一の公益財団法人認定を受けた健診機関として、地元医師会や市町村等と連携しながら、健診・検査業務の精度の向上を図るとともに、その結果を疾病の早期発見や予防活動に活かし、地域保健活動の充実を目指している。今年度は、健診・検査の結果を統計的に分析した「令和3年度版事業年報」を編集発行した。また、県内で胸部疾患に関わる医師を対象にした「読影医師研修会」は、一部の医師会で再開しつつあるので、引き続き県内医師の読影技能の向上に努める。

オ 予防医学思想の普及、健康増進啓発に向けた健康づくりへの支援事業

この事業は、公益目的事業の目玉のひとつとして、健康診断後における保健指

導や一般市民を対象にした健康教育、糖尿病等の予防啓発を行うことにより、広く県民の健康づくりを支援していくことを目的にしている。市民を対象にした市民健康講座は、コロナ禍の2年間はインターネット（You Tube）配信だったが、令和4年度の「第18回市民健康講座」は、3年ぶりに新潟日報メディアシップの日報ホールで開催し、91名の参加があった。

また、メディアシップ健康げんき倶楽部において、少人数（グループ）制の健康教育事業の一環として「心とからだの健康づくりセミナー」を継続的に実施した。

カ 感染症予防に関する知識の普及啓発並びに予防事業

この事業は、食品取扱関係者や福祉施設・医療関係者などに感染症予防の知識の普及、必要な検査を行うとともに、インフルエンザについては学校など集団感染が懸念される場所において集団の予防接種事業を行うものである。今年度は、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行が懸念されたこともあり、インフルエンザ予防接種は12,000件を計画したが、実際は6,598件の実施で昨年度を大きく下回った。

また、新型コロナワクチン接種については、市町村からの要請に基づく集団接種（小千谷市、見附市）、新潟市の個別接種、企業や市役所などの職域接種をあわせて6,410件実施した。

キ 提携して業務を行う法人への協力事業

当財団は、予防医学事業中央会ならびに結核予防会本部という、日本全体で保健活動を展開している二つの全国組織と提携し、それぞれの組織の新潟県支部として県民向けの啓発活動などの協力事業を実施している。特に、結核予防会複十字シール募金活動は、年間で約200万円の募金の実績があり、社会啓発活動に努めている。

以上のような公益目的事業を通して、県民が生涯にわたり心身ともに快適な生活をおくることができるよう、地域保健、職域保健、母子保健、学校保健、感染症予防、健康づくりなどの各分野における保健衛生活動を継続的・安定的に実施していくことが公益法人としての当財団に課せられた使命であると考えている。

2 個別事業の報告

当財団は、定款において定める公益目的事業の区分とは別に、公益財団法人への移行設立時において、事業全体を「検査事業」「健（検）診事業」「健康づくり

事業」の3つの個別事業に大別している。この3事業の実績と課題は次のとおりである。

第1 検査事業

(1) 母子保健

新潟県・新潟市より委託を受け実施している新生児マス・スクリーニングは、行政・新潟大学・県医師会（産科）の指導のもと、県内唯一の検査機関として引き続き高い精度を維持するよう努めている。

令和2年度から実施している公費負担の対象外の「希少疾患に対する付加新生児スクリーニング」は、年々増加傾向にある。

	当年度	前年度	前年度比%
先天性代謝異常検査	12,959	13,981	92.7
付加新生児スクリーニング	6,965	6,415	108.6

(2) 学校保健

学校保健安全法に基づく尿検査は、児童・生徒の腎臓病・糖尿病の早期発見・早期治療を目的に行われている。県内各市の教育委員会や医師会との連携を密に検査を実施している。受託している学校数に変更はないので、少子化による児童数の減少が続いている。

	当年度	前年度	前年度比%
尿検査（一次・二次）	148,656	152,160	97.7
（うち、腎臓病精密査）	238	195	
（うち、糖尿病精密査）	20	28	
貧血検査	7,460	8,713	85.6

(3) 感染症検査

感染症検査のうち、実施数が最も多い腸内細菌検査については、令和4年度は、32,334件で前年度比98.8%の実施であった。

	当年度	前年度	前年度比%
腸内細菌検査	32,334	32,718	98.8
食品検査	555	700	79.3
QFT検査	1,050	927	113.3
HPV検査	70	95	73.7
血液検査(抗体)	805	1,510	53.3

(4) その他の検査

登録衛生検査所の業務の一環として、新潟市医師会メジカルセンターからの血液検査、及び近隣の病医院からの婦人科細胞診を受託している。新潟市医師会の健診事業の縮小や近隣医院からの検体依頼数の減少により、血液検査、病理検査の受託数はいずれも減少した。

	当年度	前年度	前年度比%
血液受託検査	377	800	47.1
病理受託検査	3,488	4,304	81.0

第2 健(検)診事業

(1) 学校保健

学校保健安全法に基づき、4～6月までの間に小・中・高校生対象の心臓(心電図)検診、高校1年生対象の結核(胸部レントゲン)検診及び大学や専門学校の学生対象の健康診断を行っている。今年度は、三条市立大学の開学後の学年が増えたことで受診者数が増加し、実施数は前年度を上回った。

	当年度		前年度	前年度比%
	学校数	人数		
結核検診 (胸部X線検査)	85	31,204 (集計方法の訂正)	23,885	130.6 (集計方法の訂正)
心臓検診	450	35,305	35,511	99.4
学生健診 (大・専門学生)	16	12,041	10,272	117.2

(2) 地域健診

県内各市町村が高齢者医療確保法や健康増進法などに基づいて実施している特定健康診査及び結核・各種がん検診について、当財団は、特定健診は中越・県央地域を中心に、結核・がん検診は上越地域を除く県内全域の事業を担当している。コロナ禍で受診者数が減少した時期に比べて受診者数は回復傾向であった。特定健診、結核・肺がん検診、胃がん検診は前年度比では100%超であるが、大腸がん検診、乳がん検診、子宮がん検診は、80～90%程度の実施率にとどまった。大腸がん検診は、加茂市が委託先を変更したことや燕市が対象年齢を引き上げたことで受診者数が減少したと思われる。乳がん検診・子宮がん検診は、2年に1度の実施であるが、コロナの影響で受診控えがあった令和2年度に未受診だった人が令和3年度に受診し、前年度比で138%～176%であったので、令和4年度は「空白年」になったと考えられる。

		当年度		前年度	前年度比%
		市町村数	人数		
特定健診		6	32,689	31,584	103.5
結核検診 (65歳以上・39歳未満)		19	93,936	90,255	104.1
地域がん検診	肺がん検診 (40歳以上)	19	117,971	114,608	102.9
	喀痰細胞診	11	1,085	1,184	91.6
	胃がん検診	7	15,001	14,929	100.5
	大腸がん検診	9	30,231	32,727	92.4
	乳がん検診	15	17,075	21,349	80.0
	子宮がん検診	13	10,109	12,900	78.4
	前立腺がん検診	6	4,621	4,172	110.8
骨検診		3	913	1,104	82.7

(3) 職域健診

労働安全衛生法に基づき事業所等が実施する定期健康診断は、行政・教育機関の職場の占める割合が大きく、毎年度の競争入札の結果に影響される。定期健康診断は巡回では14,304件、施設では定期健康診断数は14,147件であった。

		当年度	前年度	前年度比%
定期健診	巡回	14,304	15,891	90.0
	施設	14,147	15,001	94.3
特殊健診		2,262	2,588	87.4
職域がん検診	胸部検診	34,953	34,864	100.3
	胃がん検診	12,604	13,288	94.9
	大腸がん検診	14,529	14,879	97.6
	乳がん検診	3,874	4,286	90.4
	子宮がん検診	4,747	5,419	87.6
	前立腺がん検診	1,532	1,869	82.0
事業所	骨検診	220	241	91.3

(4) 人間ドック検診

成人病検診センターにおける人間ドックは、各種健康保険組合、公務員共済組合との受託契約に基づくもののほか、全国健康保険協会（協会けんぽ）及び新潟市国保の検査項目に上乘せをして実施する併用の形態など、受診者のニーズにできる限り対応するようにしている。受診者数は1日平均して15～20人程度の少人数になっている。

	当年度	前年度	前年度比%
人間ドック	3,122	3,226	96.8

第3 健康づくり支援事業

(1) 特定保健指導

高齢者医療確保法に基づく特定保健指導は、小千谷市や見附市などの市町村からの委託により住民国保を対象にした出張の特定保健指導、及び人間ドック受診当日の検査結果に基づく指導などを実施している。職域を中心にして、メタボの基準の該当者が減る傾向にあると思われる。

特定保健指導の区分	当年度	前年度	前年度比%
住民対象（市町村国保）	43	68	63.2
職域対象 （協会けんぽ、共済組合など）	196	225	87.1
健康げんき倶楽部における 特定保健指導	13	23	56.5

（２）ストレスチェック

労働安全衛生法により義務化されたストレスチェック検査は、近年ストレスチェックを専門に安価に請け負う業者が進出し、受託数は半減している。また、ストレス検査後の高ストレス者に対する医師面接指導の申し出が減少する傾向にある。

ストレスチェック	当年度	前年度	前年度比%
ストレス検査	6,543	11,326	57.8
医師面談指導	20	22	90.9
メンタルヘルス相談	2	1	200.0

（３）生活習慣病予防事業

成人病検診センターに特殊（糖尿病・禁煙）外来を設置し、次のような予防事業を実施した。

ア 糖尿病予防事業

健診の結果を踏まえ、糖尿病または境界型糖尿病の疑いのある受診者を対象に、山田幸男医師の指導に基づき、糖尿病精密検査、糖尿病教室、フォローアップ外来を実施した。

イ 喫煙予防事業

令和2年6月より治療薬の出荷保留が続いており、禁煙外来は休止中である。

生活習慣病予防事業	当年度	前年度	前年度比%
糖尿病予防事業	135	170	79.4
喫煙予防事業	0	0	0.0

(4) 健康相談（個別）

健康診断の結果を踏まえ、保健師、管理栄養士の専門職が受診者の健康に関する悩みに個別の健康相談事業を行った。

健康相談の区分	当年度	前年度	前年度比%
人間ドックにおける健康相談	3, 122	3, 241	96.3
事業所などの定期健康診断における健康相談 新潟市特定健康診査における健康相談 労災2次健康診断における健康相談他	1, 007	1, 141	88.3
メンタルヘルス相談 (産業カウンセラー対応)	35	32	109.4
健康げんき倶楽部における健康相談	102	157	65.0

(5) 健康教育（集団）

メディアシップげんき倶楽部において、少人数（グループ）制の健康教育事業の一環として「心とからだの健康づくりセミナー」を継続的に実施した。

また、市民を対象にした市民健康講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度、3年度はインターネット（YouTube）配信をしていたが、今年度は3年ぶりに新潟日報メディアシップの日報ホールで開催した。

ア 第18回市民健康講座の開催

① 日時 令和5年2月18日（土）

② 内容

講演1 「溢れる医療情報のなかで自ら健康を守る
～健診とかかりつけ医を大切に～」

内山 聖 医師（当財団副会長）

講演2 「胃がんについて」

秋山 修宏 医師（新潟県立加茂病院前院長）

③ 参加者 91名

イ「心とからだの健康づくりセミナー」の開催

メディアシップ健康げんき倶楽部において実施している、「心とからだの健康づくりセミナー」は、新型コロナウイルス感染症対策により1回あたりの人数制限はあるものの、前年度より開催日数を増やしたため、受講者数は増加した。

健康教育（集団）の区分	当年度	前年度	前年度比%
市民健康講座	91	289	31.5
健康づくりセミナー	138	83	166.3

ウ 関係機関が主催する各種健康づくり活動への参加

- ① 長岡すこやかともしびまつり 2022 令和4年9月17日（土）
- ② おぢや健康福祉まつり 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

（6）予防接種

感染症予防の一環として、医療従事者や学生を対象に、B型肝炎、麻疹、風疹、ムンプス、水痘など感染症の抗体検査及び予防接種を実施した。また、大規模事業所や学校などを対象にした集団のインフルエンザ予防接種は前年度を大きく下回り、6,598件で前年度比82.6%であった。

予防接種	当年度	前年度	前年度比%
インフルエンザ	6,598	7,987	82.6
B型肝炎・その他のワクチン	1,348	2,046	65.9

（7）新型コロナワクチン接種

国のコロナ感染予防対策の一環としてワクチン接種事業に取り組み、市町村が実施主体の集団接種（小千谷市、見附市）、成人病検診センターにおける個別接種（新潟市）、企業・大学対象の職域接種（新潟日報グループ、新潟市役所）を実施した。令和4年度は、「3回目～5回目接種」を合わせて、6,410件を実施した。

区 分		3回目 接種件数	4回目 接種件数	5回目 接種件数	合 計
集団接種	接種時期		7月～9月	12月～	4,249
	小千谷市	0	1,675	1,515	
	見附市	1,059	0	0	
個別接種	接種時期	4月～6月	7月～11月4日	11月29日～	406
	新潟市	7	230	160	
	新潟市以外	0	6	0	
職域接種	接種時期	5月	11月～12月		1,758
	新潟日報G	820	624	0	
	新潟市職員	0	314	0	
合 計		1,886	2,849	1,675	6,410

(8) その他の支援活動

ア 身体障害者への受診対応

リフト装置付胸部検診車を配備し、福祉介護施設の入所者などの受診機会を損ねることのないよう努めている。リフト車の老朽化が課題であったが、デジタル装置を搭載した車椅子対応リフト付き胸部X線検診車（D-11号）を導入した。

イ 安定ヨウ素剤の事前配布に係る健康状態確認業務

新潟県より国の原子力災害対策指針に基づき、UPZ（原発から概ね半径5Km～30Km圏）内の住民への安定ヨウ素剤の事前配布に係る健康状態確認等の業務委託を受けて、オンラインで実施した。

ウ 世界エイズデーにあわせた特例即日検査の採血及び検査業務

新潟市保健所からの委託を受けて、メディアシップ内健康げんき倶楽部を会場として、若者への啓蒙活動も含め、エイズ感染の採血及び検査業務を実施した。

第4 その他関連事業

(1) 関連機関への参加協力

ア 結核予防会及び予防医学事業中央会への加盟

それぞれの中央本部と連携し、新潟県支部としての活動を推進してきた。

- ① 第74回結核予防全国大会参加
令和5年2月14日～15日 熊本県
- ② 第67回予防医学事業推進全国大会参加
令和4年10月28日 鹿児島県
- ③ 第56回全国予防医学技術研究会参加
令和5年3月2日～3日 石川県
技術研究会において、次の研究発表を行った。
○「新潟県における希少疾患に対する
付加スクリーニング検査の実施体制について」
検査課 古井 妙子

イ 新潟県検診機関協議会への参加協力

新潟県健康づくり財団が事務局を担当している協議会の会議・研修会に参加するほか、肺がん検診部会委員長施設として、より精度の高い検診が実施できるよう、会の運営に協力した。

(2) 専門委員会等の開催

検診検査業務の精度の向上を図ると共に事業を円滑に実施するため、例年新潟大学や医師会等と連携し専門委員会を開催している。コロナ禍の影響で活動が停滞していたが、一部の医師会で再開しつつある。

ア	肺がん検診専門委員会(2ヵ月1回開催)	令和4年度	メール連絡
イ	母子関係事業懇談会	令和5年2月9日	
ウ	胸部検診読影委員会	村上地区	令和4年度中止
		新発田地区	令和4年度中止
		三条地区	令和5年3月11日
			(WEB開催)
エ	胃がん検診検討委員会	三条地区	令和5年3月25日
オ	新潟市読影医師研修会		令和4年度中止
カ	子宮がん検診委員会		令和5年3月 書面報告

(3) 結核予防複十字シール募金運動

結核予防会本部が全国運動として展開している複十字シール募金を本年度も、保健所、新潟県食生活改善推進委員協議会等の協力を得て行った。

令和4年度 募金額 2,018,826 円 (目標額 1,800,000 円)

3 施設設備の整備

令和4年度における主な設備投資は、次のとおりである。

(1) X線検診車及び医療機器

ア X線検診車

乳がん検診（ポッシュ号）のX線装置を入れ替えて、令和3～4年度の2カ年継続の予算執行として、胃部デジタル装置の載せ替えを行った。

また、令和4年度、胸部レントゲンフィルムの販売中止を受けて、デジタル装置を搭載した車椅子対応の胸部レントゲン検診車（リフト車）を導入した。

① 胃部デジタルX線検診車 E-56号 24,200,000 円

② 車椅子対応リフト付き胸部X線検診車 D-11号 46,351,000 円

小計 70,551,000 円

イ 成人病検診センターの医療機器等の更新

成人病検診センターの機能の向上を図るため、次の機器更新及び建物設備のリニューアルを行った。

① 超音波診断装置一式 ARIETTA750VE 7,964,000 円

② 上部消化管ビデオスコープ
オリンパス社製 GIF-1200N 3,410,000 円

③ タカラベルモント産婦人科検診台 2,475,000 円

④	乳房X線診断装置 富士フイルムメディカル社製 AMULET Innovality S システム	17,050,000 円
⑤	胸部X線FDP撮影台システム 富士フイルムメディカル社製 CALNEO PU S77	8,580,000 円
	小計	39,479,000 円

ウ 検査課機器の更新

①	プレハブ冷蔵庫 ホシザキ (株) プレハブ冷蔵庫 PR-20CC	1,430,000 円
---	-------------------------------------	-------------

②	タンデムマス分析装置 新生児先天性代謝異常検査の装置一式について、導入後10年が経過したことに伴い、県及び新潟市が公費で購入し、当財団が貸与を受ける方法によって更新した。	
---	--	--

エ 巡回健診用機器の更新

①	無散瞳眼底カメラ (県央メジカルセンター)	2,860,000 円
---	-----------------------	-------------

ウ+エ 小計 4,290,000 円

(2) 情報システム関係

ア TAK総合健診システム

令和3年度更新予定であったが、プロポーザルにより選定したシステム会社との契約締結が不調になったことにより、改めて他社複数と交渉を進め、令和5年度からの稼働に向けて、タック株式会社と契約した。

85,294,000 円

イ ハードウェア (パソコン)

総合健診システムの更新にともない、パソコンをデスクトップ、ノート型合わせて95台購入した。

11,307,560 円

ウ ハードウェア (プリンター)

検診結果の個人票などを専用にプリントする。

2,961,200 円

エ ホームページのリニューアル

ホームページ制作から約10年が経過し、内容、デザインともに古くなっており、当財団の事業内容の紹介、イメージアップを図るためホームページをリニューアルし、令和5年1月より公開した。

(支出科目は「広告宣伝費」 5,177,700円)

小計 99,562,760円

(3) 建物設備工事

ア 成人病検診センターの建物設備

- | | |
|---------------|-------------|
| ① 玄関周辺改修工事 | 4,400,000円 |
| ② 空調設備改修工事 | 20,000,000円 |
| ③ 1F女子トイレの洋式化 | 1,089,000円 |

イ 本部の建物設備

- | | |
|-----------------------------------|------------|
| ① 本館トイレ照明・換気扇取替工事(1階、2階、4階、5階、6階) | 1,298,000円 |
|-----------------------------------|------------|

小計 26,787,000円

(1) + (2) + (3) 総計 240,669,760円

(4) 車両運搬具

ア 一般車両のメンテナンスカーリース

当財団が所有している一般車両について、安全性の向上、車両管理業務の削減、コストの低減などのため所有している車両を昨年度に引き続きメンテナンスカーリース契約することとし、リース資産を取得した。

令和4年度新規台数10台 31,455,600円
(うち、年間の短期リース代金 2,839,760円)

(5) 設備投資に伴う長期借入金及び長期リース負債の償還

ア 長期借入金の償還

- | | |
|------------|-------------------------|
| ① 借入先 | 第四北越銀行県庁支店 |
| ② 当年度中の償還額 | 9,996,000円 |
| ③ 借入の内容 | 胸部X線検診車の購入代金に充当。(7年間) |
| ④ 長期借入金残高 | 20,020,000円 (令和5年3月31日) |

イ 長期リース負債の償還

- | | |
|----------------|--------------------|
| ① リース先 | 栄研化学株式会社 |
| ② 令和3、4年度分の償還額 | 30,888,000 円 |
| ③ リースの内容 | 検査課 生化学検査機器導入(5年間) |

(6) 特定費用準備資金の取崩し

次年度以降の検診機器の取得費用に充てるため、積立していた特定費用準備資金の 24,425,007 円を取崩した。

4 法人運営の状況

(1) 主な会議の開催状況

定款の規定に基づき、理事会及び評議員会を次のとおり開催し必要事項を審議した。

ア 理事会

- | | | | |
|-------------|------|----------|---------|
| ① 第21回定時理事会 | 令和4年 | 5月30日(月) | 本館4階会議室 |
| ② 第18回臨時理事会 | 令和4年 | 6月13日(月) | 本館4階会議室 |
| ③ 第19回臨時理事会 | 令和4年 | 9月30日(金) | 本館4階会議室 |
| ④ 第22回定時理事会 | 令和5年 | 3月15日(水) | 本館4階会議室 |

イ 評議員会

- | | | | |
|--------------|------|----------|---------|
| ① 第11回定時評議員会 | 令和4年 | 6月13日(月) | 本館4階会議室 |
|--------------|------|----------|---------|

(2) 監査報告

令和5年5月16日(火)に行われた監事監査の結果、令和4年度の事業報告及び決算について、適正の報告があった。

令和4年度 検査・健（検）診 事業状況

事業区分		令和3年度	令和4年度		前年度比較			
		(A)実施数	(B) 計画数	(C) 実施数	C/B (%)	C/A (%)		
検査事業	母子	先天性代謝異常検査	13,981	14,500	12,959	89.4	92.7	
		付加新生児スクリーニング	6,415	6,000	6,965	116.1	108.6	
	学校保健	寄生虫検査 ぎょう虫	69	0	0			
		尿検査	152,160	151,000	148,656	98.4	97.7	
		(再掲)	1次検査	136,994		134,416		
			2次検査	4,207		3,783		
			腎精検	195		238		
			糖精検	28		20		
			大学	10,736		10,199		
	貧血検査（小児生活習慣病含）	8,713	8,000	7,460	93.3	85.6		
	感染症	腸内細菌検査	32,718	32,000	32,334	101.0	98.8	
		食品検査	700	650	555	85.4	79.3	
		QFT検査	927	1,000	1,050	105.0	113.3	
		HPV検査	95	90	70	77.8	73.7	
		血液検査（抗体）	1,510	1,600	805	50.3	53.3	
	受託	血液（新潟市医師会）	800	200	377	188.5	47.1	
		病理（開業医・他健診機関）	4,304	4,200	3,488	83.0	81.0	
健診事業	学校保健	結核検診（高1年生・大・専門学生）	23,885	24,000	31,204	130.0 (集計方法の訂正)	130.6 (集計方法の訂正)	
		心臓検診（小・中・高生）	35,511	35,000	35,305	100.9	99.4	
		学生健診（内科含む高・大・専門学生）	10,272	10,500	12,041	114.7	117.2	
	地域検診（巡回健診）	特定健診	全委託	29,048	30,000	30,227	100.3	103.5
			一部委託	2,536	2,600	2,462		
		肝炎	特定・単独	1,550	1,600	1,668	104.3	107.6
		前立腺がん	特定・単独	4,172	4,200	4,621	110.0	110.8
		糖負荷試験		61	60	84	140.0	137.7
		胸部検診	結核検診 間接撮影	90,255	100,000	93,936	93.9	104.1
			肺がん検診 間接撮影	114,608	125,000	117,971	94.4	102.9
				喀痰細胞診	1,184	1,200	1,085	90.4
			胃がん検診	14,929	15,500	15,001	96.8	100.5
			大腸がん検診	32,727	35,800	30,231	84.4	92.4
			乳がん検診	21,349	22,000	17,075	77.6	80.0
		(再掲)	(マンモ1方向)	17,872		14,113		
			(マンモ2方向)	3,573		2,962		
			子宮がん検診	12,900	13,000	10,109	77.8	78.4
	骨粗しょう検診	1,104	1,000	913	91.3	82.7		

事業区分		令和3年度	令和4年度		前年度比較			
		(A)実施数	(B) 計画数	(C) 実施数	C/B (%)	C/A (%)		
健 診 事 業	巡 回 健 診	定期健康診断	15,891	16,000	14,304	89.4	90.0	
		(再掲)	A (推奨・充実・法定)	3,852		4,691		
			B (推奨・法定)	73		130		
			協会 (生活習慣病健診)	2,943		2,833		
			新採用時検診	403		272		
			深夜業務従事者健診	1,804		1,372		
			他保険組合健診	6,816		5,006		
		その他健診	3,639	3,800	4,820	126.8	132.5	
		施 設	ホール健診	15,001	14,500	14,147	97.6	94.3
			人間ドック	3,226	3,800	3,122	82.2	96.8
	職 域 検 診	特殊健診	特殊健診	2,588	2,400	2,262	94.3	87.4
			胸部検診	34,864	35,000	34,953	99.9	100.3
		(再掲)	単独病院・施設	6,393		6,825		
			出張	13,580		15,357		
			ホール	11,737		9,682		
			ドック	3,154		3,089		
		喀痰細胞診	397	400	437	109.3	110.1	
		胃がん検診	13,288	13,800	12,604	91.3	94.9	
		(再掲)	胃カメラ (ドック・ホール)	1,963		1,818		
			出張	4,923		4,855		
			ホール	4,949		4,425		
			ドック	1,314		1,389		
		単独	139		117			
		大腸がん検診	14,879	13,300	14,529	109.2	97.6	
		(再掲)	出張	5,795		5,561		
			ホール	5,976		5,961		
			ドック	3,108		3,007		
		乳がん検診	4,286	4,100	3,874	94.5	90.4	
		(再掲)	出張	1,851		1,729		
			ホール	1,506		1,229		
			ドック	929		916		
		子宮がん検診	5,419	5,500	4,747	86.3	87.6	
		(再掲)	出張	2,630		2,300		
ホール	1,815			1,566				
ドック	974			881				
前立腺がん検診	1,869	2,000	1,532	76.6	82.0			
(再掲)	出張	359		9				
	ホール	291		298				
	ドック	1,219		1,225				
骨粗しょう検診	241	300	220	73.3	91.3			
(再掲)	出張	16		24				
	ホール	68		66				
	ドック	157		130				
健 康 支 援 事 業	感 染 予 防	予防接種	10,033	13,500	7,946	58.9	79.2	
		(再掲)	インフルエンザ	7,987	12,000	6,598	55.0	82.6
			B型肝炎	1,558	1,800	772		
			麻疹・風疹 (MR)	275		293		
			ムンプス	184		243		
			水痘	29		37		
			肺炎球菌	0		3		
			破傷風	0		0		
			ツベルクリン反応	0		0		
		新型コロナワクチン (※)	34,329	5,000	6,410	128.2	18.7	
総 計		778,433	774,100	744,559	96.2	95.6		

令和4年度 健康づくり支援事業実施状況

事業区分	年度	令和3年度	令和4年度		前年度比較		
		(A) 実施数	(B) 計画数	(C) 実施数	C/B (%)	C/A (%)	
健康 支 援	特定保健指導	住民健診	68	60	43	71.7	63.2
		職域健診	225	280	196	70.0	87.1
		健康げんき倶楽部	23	25	13	52.0	56.5
	ストレスチェック	ストレス検査	11,326	10,000	6,543	65.4	57.8
		医師面接指導	22	40	20	50.0	90.9
		メンタルヘルス相談	1	5	2	40.0	200.0
	生活習慣予防	糖尿病予防事業	170	180	135	75.0	79.4
		喫煙予防事業	0	10	0	0.0	0.0
	健康相談	人間ドック健康相談	3,241	3,800	3,122	82.2	96.3
		定期健康診断・労災2次・新潟市特定における健康相談	1,141	1,200	1,007	83.9	88.3
		健康げんき倶楽部健康相談	157	140	102	72.9	65.0
		産業カウンセラーによるカウンセリング	32	20	35	175.0	109.4
	健康教育	市民健康講座 (オンラインセミナー)	289	270	91	33.7	31.5
		健康げんき倶楽部 健康づくりセミナー	83	150	138	92.0	166.3
		連携講座・受託セミナー	33	220	0	0.0	0.0
講師派遣		6	100	75	75.0	1250.0	
総 計		16,817	16,500	11,522	69.8	68.5	